

2017年度 第1回 理事会議事録

日 時:2017年5月17日(水) 10:30~17:00

場 所:東京都千代田区内神田 3-24-5

エッサム神田 2号館 301

I. 開会 司会進行:大代専務

- II. 会長挨拶: 昨年は皆さまの力強いお力添えをありがとうございました。お礼申し上げます。昨年度より会議の行い方を大きく変えました。実はその背景には『貢献』というキーワードがあります。貢献とは会議に出席している人への貢献、それを通じて業界、社会への貢献。会議の参加者へ貢献するためには発言しなくては貢献にはならない。話さなくても、話しすぎても貢献には程遠くなります。本日は、会議の参加者へ貢献するという事を念頭において発言してほしい。理事それぞれの立場を通して、会員への貢献、業界への貢献、社会への貢献を軸にして活動に取り組んでほしい。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

III. 議事

1. 議長選出:金子副会長 議事録作成人:事務局 中村早苗

2. 定足数の確認:理事出席 64名(79名中) 委任状65名 監事出席3名(3名中) 顧問2名 オブザーバー1名
事務局3名 合計:72名

3. 議事録署名人の指名:正副会長より福川氏及び監事より斎藤氏を指名

4. 資料及び議題の確認・新議題の採択 議題は次第のとおり、新議題はなし。

前回議事録の確認(メール配信済み) 2016年度第3回理事会 第7回正副会長会議 2017年度第1回正副会長会議

5. <会議の進め方:竹ノ内関連部会長より>

6. 目的と事業の確認(定款抜粋)

【審議事項】

(1) 【広報委員会】秋分の日はお墓参りの日 2017年度ポスター作成 上野 資料P2

上野:7月からポスターの掲示をお願いしたい。今年は9/23が秋分の日となっている。ポスターのアンケート結果を踏まえて、ポスターA1サイズ2枚、A2サイズ8枚合わせて10枚配布。今年は他団体も含めて展開を考えている。他委員会に協力頂き、地元郵便局へ掲示をお願いしたい。FBの活用もしていただきたい。

金山:お墓参りキャンペーンを自社で行っている。著作権の問題があるかと思うが、個々の石材店でも使えるようにお願いしたい。

上野:著作権の費用の問題だけだと思うので、費用金額を調べてみる。

佐野:アンケートに活用方法が書いてあるので、それを1枚ポスター配布時に入れてはどうか?

全会一致にて承認

(2) 入退会について 入会7名 退会16名 大代 資料P9

大代:入会7社 全会一致にて承認

退会16社(内5社 年会費未納) 承認

(3) 【会員拡大委員会】発足について 射場 資料P24+総会

会長:今後の活動の拡大と事業展開の更なる充実の為に会員拡大を推進すると共に、会の運営の安定を図る目的で、会員拡大委員会を発足しようと思う。石産協の活動の意義、魅力、可能性を広く業界へ伝え、業界の将来を築く為に入会を促進していく。委員長として、井口直前会長にご尽力いただきたい。

全会一致にて承認

(4) 【総会】2016年度 報告(総会資料) *斎藤顧問から決算についての説明 大代 総資料P7

望月監事:5月9日、監事3名にて会計監査を行なった。事務局より説明を受け、問題はなかった。

大代:事業報告内容を各担当者は、確認をしていただきたい。

斎藤顧問:正味財産増減計算書・・・通常の会社で言えば損益計算書にあたる。収入合計 68,704,344円 ディレクター関連の収益が大きい。経常費用の事業費の中は委託費の金額が大きい、これもお墓ディレクター関係が大きい。

経常費用合計 66,119,844円 当期経常増減額 2,584,500黒字である。

貸借対照表・・・財政状態。総資産 160,783,740円 財産はほぼ預貯金である。負債の災害支援引当金は東日本大震災の義援金として預かっていたものを引当金とし、災害対策基金と一致させている。正味財産合計は一般の会社の純資産となる 153,979,317円 正味財産増減計算書の 153,979,317円と、この純資産が一致し、二つの表がつな

がっているということが確認できる。

全会一致にて承認

(5)【総会】2017年度 計画・予算・※組織図 (総会資料)

大代

資料 P47

テーブル内にて協議

②姫田：支部地区によって随分差があるように思える。各地区、支部の活動が会員拡大につながると思う。

⑤瀬川：部会についてだが、お墓参りポイント制度の議案にて、ここまでやらなくてはならないのか?淋しさがあるが、前向きにできるのであれば、取り組んでもらいたいと思う。お墓じまいネットワーク事業の内容の資料修正をお願いする。石産協としては安易なお墓じまいについては購っていくべきだと思う。墓じまいネットワークというネーミングは検討が必要だと思う。スケールメリットを生かし、ネットワークを生かした組織づくりは一つの方策だと思う。

⑩小柴：委員会について・・・公正競争規約検討特別委員会についてはハードルが高いが、消費者のためには良いことだと思うので、進めていただければと思う。次世代共育委員会は石材産業業界の未来を担う若手を育成する大切な事業。会員以外の方々に対して門戸を開いての事業を開催しているので、もう少し予算をとり、将来を担う人のために使用してもよいのではないかと。顧客満足推進委員会のセミナーキットの理解ができていないが、先ず使ってみて、使い切るということが大切であると思う。みなし墓地についてだが、日本の墓地の80%がみなし墓地といわれている。石材店にとっては宝の山という考え方で、認識している。難しい問題であると思うが、是非、実態調査事業を行ってほしいと思う。お墓ディレクターの駿台トラベル専門学校との事業だが、墓石業界、供養業界の形のひとつとして含まれているというような方向であると思う。石材業界の未来を担う人の育成であると思うので、頑張っていってほしいと思う。

福川：委員会は人材が不足している。良いことを掲げているが、実際は難しい。是非参加をお願いしたい。

⑥中山：協会の会員が減らないような活動をしたらどうか。

直前：入会の拡大も大切であるけども、退会者を減らすということはそれ以上に大変であり、大切なことだと思う。石産協の活動事業が見えていない。広報を通じてメリットを伝えていく。石産協の活動を会員へ伝えていく。

⑪柴田：部会、委員会 事業でダブっている部分を部会、委員会での調整が必要。コーディネーターの人が必要。

福川：各委員会、墓石部会に出席して統合していきたいと思う。

⑤田部井：地区全体会議の未定なところは伝えてほしい。

井口功：諸事情があると思うが、年度末までに計画を提出してほしい。

大代：収支予算案についてだが、単年度予算は赤字である。先細りとなっていくので慎重に運営を考えて欲しいと思う。

資料訂正があったら5/18日までお願いしたい。

全会一致にて承認

(6)【総会】来賓者リスト+タイムスケジュール

谷合

資料 P27

谷合：来賓リスト、タイムスケジュールの確認。

全会一致にて承認

---高知県支部 小松支部長より、来年の総会を高知県にて行いたい。是非承認いただきたい。

緊急動議：2018年総会 日にち6月22日(金) 高知市文化プラザ・懇親会はアサヒロイヤルで行うことについて。

審議・・・白票2票 賛成多数により承認

(7)【関連部会】シナリオ・プランニング2016年度事業報告・決算報告

竹ノ内

資料 P32

竹ノ内：シナリオの考え方をプロのシナリオプランニング会社に入ってもらい、シナリオのベースを予測し複数シナリオを予想。取り巻く環境を踏まえ事業を考える。5回のミーティングと2回のワークショップを行った。社会のつながりの融和が進むのか、分断されるのか、景気が良くなるのか、悪くなるのか4つのシナリオに分けて考えた。未来を予測するだけでなく、検討した10年後の世界を、石材業界をより良いものにするために、協会や自社が何をできるか考える。実現計画→あるべき姿→ありたい姿 可能性を踏まえ考えていく。総会では石産協として未来を見たとき、アクションを起こしていきたい事柄を考えビジュアル化。動画を作成し、総会の大討論会にて議論。地区大会等でありたい姿へ一歩でも近づこうとすることを目的とする。

全会一致にて承認

(8)【関連部会】シナリオ・プランニング2017年度事業計画

竹ノ内

資料 P36

竹ノ内：シナリオの軸をブラッシュアップし、動画の作成を2017年度に行う。

新田：以前に行った協会の中長期計画との整合性についてお伺いしたい。以前の調査を生かしていただければと思う。

2017年度 第1回 理事会議事録

竹ノ内：中長期の資料及び消費者の動向調査資料、J C石材部会の資料を確認した。ビジョンを確認したうえで、少々違いを感じたが、現在のように進めている。

福川：この予算 60 万円の中に映像代も入っているのか？

竹ノ内：映像代込となっている。

全会一致にて承認

(9) 【お墓D委員会】模擬問題集 2016 販売について (2016年10月発行) 湯浅 資料 P38

湯浅：第13回お墓ディレクター検定に合わせ製作。一部誤植があったが、すぐに対応し問題はなかった。

全会一致にて承認

(10) 【お墓D委員会】第13回検定試験について (2017年1月25日) 湯浅 資料 P40

湯浅：今年度は433名の受検者。問題なく終了することができた。

全会一致にて承認

(11) 【お墓D委員会】1級資格取得者研修会について (2017年3月6日) 湯浅 資料 P40

湯浅：参加者から好評であった。(株)はせがわ様に協力いただき、赤坂にある自動運搬式納骨堂「赤坂浄苑」を見学。その後、遠妙寺住職 長沢氏の講演を行った。

全会一致にて承認

(12) 【CS委員会】セミナーキット事業計画書案 (再上程/川上氏からの説明) 能島 資料 P48

能島：再上程である。再上程に至るまでの経緯は議案書に記載の通りである。

川上氏より説明〜〜お墓離れの時代の根拠、石屋離れをしているのではないかと根拠として、死亡者は増えているのに、石材店の来店数、相談件数が減っている。お墓は墓石だけではなくなくなった。定期的な自店 PR ができていない。自社離れを防ぐために何が必要かを考える。地域に必要とされる企業、店、人材となる。石材店といかに関係を持っていくかという取り組みをすることがこのセミナーのミッションである。地域への貢献、既存顧客への安心感を持ち続けてもらう。石材店との接点の訴求。マスコミの供養報道の修正や補足。お墓の啓蒙とともに自社のブランディングをしていく。セミナーキットの活用方法の講習会を開催予定 (予算を含む)

能島：キットの中身は各石材店ごとに自由に文字、数値が変更できるようになっている。30万円の売上目標。

山口県支部：講師は山口県支部へキット説明に来てもらうことは可能か？

川上：交通費は負担してもらうことになるが、伺うことはできる。

全会一致にて承認

(13) 支部補助費の活用 (参考：2017年度支部総会開催状況) 大代 資料 P55

大代：支部総会等を開催するための費用補助。開催しない支部もある。資料提出の中に議事録が載っていないので、内容がわからない。支部総会開催無しのところは支部補助費をなくすことについて審議していただきたい。5/31までに事務局に送付をお願いしたい。7/5に予算編成委員会を開催し、支部総会の検証をし、正副を経て、8月常任理事会にて報告をする。その後支部補助費の支払いを行う。

⑨戸高：資料提出のない支部には補助金を出さないように徹底した方がよいのではないかと。

⑩姫田：一方的に支払わないのではなく、総会資料と議事録を本部に送り、その中で支部助成金の申請をしてもらい、申請書提出による支払をしてはどうか？

⑪柴田：議事録等をどういった形で書いてよいかわからないと思うので、文例を出してはどうか？

⑫中山：一気に減らすのではなく減額する方法。支部会のモデルケースを各支部に配布してはどうか？

会長：今年度に関しましては、姫田地区長の意見の申請による支払にし、状況をみて、次年度修正をする。総会を行い、総会資料・議事録の提出をしていることを条件とする。

全会一致にて承認

【協議事項】

(1) 【公正競争規約検討特別委】石材業界他団体への公正競争規約推進について 白木 資料 P57

白木：他団体の公正規約の推進についてだが、まず内部の賛成を持たないと他団体へもってはいけなないので、アンケートをとった。概ね理解いただけたと思う。消費者庁と公正取引委員会へ相談。各グループごとに協議していただき、委員会にて再検討し、常任理事会にて審議というスケジュール。

テーブル内にて協議

- ⑨山本：ある程度のルールが必要とは思いますが、これから出てくるルールの中で自分たちが納得できるものが出来上がってくるかどうかで、賛成反対が出るのではないかと思う。
- ④岡谷：難しいという声が多かった。業界全体の足並みがそろうのか心配である。取組に関しては良いと思う。石のランク分けが難しいと思う。規約によって悪用されるケースもあるのではないか？どう取り締まっていくか？業種によって温度差があるのではないか。
- ⑧芳村：規約ができることによって、我々の首を絞めることとなるのではないかという懸念もある。そこを自覚し、もう一段高い目的をもって取り組みたい。石材業という業種が一般的に認められるような業種になれるように。
- ⑩小松：もう一つ団体を作るのはハードルが高いのではないか？ガイドライン作成に留め、会員が豊かになれるような事業にすれば良いのではないか？

白木：業界の足並みがそろうかといところは、5名以下のA会員は難しいのではないかと。ということだが、輸入卸商部会・関連部会等が小売店をサポートした体制づくりが必要かと思う。他団体とも話をし、具体的なルールについては納得したルールを作らなくてはならないと思う。

次回常任審議

(2) 社会貢献事業寄与制度について (NPO 法人自殺防止ネットワーク風) 川本 資料 P57

川本：チャイルドラインへ昨年度 5 万円寄付。無作為に寄付を行っては予算が限られているので、このような上程となった。協会の定款にあるように、社会貢献することを目的。1 団体につき 10 万円を限度。現金での支援、人的支援。石材業界以外の団体で、社会貢献事業を行っている団体を応援していく制度をつくってはどうか。

柴田：良い事だとは思いますが、しかし予算は赤字予算である。50 万円という枠があるにしても、現状をみても、いかになものかと思う。いままで行っている協賛事業を 50 万円の枠に入れ、50 万円を分けるのであれば良いのだが、さらにプラス 50 万円の予算を必要とするものをなぜ予算会議に出さなかったのか？赤字予算の段階でこの議案がでてくるのはいかかかと思う。良いことだが、善いことだと積み重ねていって、赤字では会の本来の目的を達成するのが難しくなる。議案書の 対象事業の 5) 応募資格に 2) にある内容は 定款 4 条 8 項 に書かれていることに違反していると思う。内容に問題がある。今年度の活動を終えた後、次年度の予算編成委員会に提出し、監事の方々に検討してもらってから提出すべき案件だと思う。

川本：持ち帰って検討。次回上程は正副にて検討後に行う。

【報告・周知・依頼事項】

(1) 【お墓D委員会】今後の受検者数対策について 湯浅 資料 B P1

討議事項

湯浅：受検者数が減ってきている。委員会でも協議しているが、委員会メンバーも少なくなり、名古屋会場を減らすという案がでてきている。受検資格の改定案として、1 級受検資格をなくすことによって、受検者数が増えるのではないかと。他業種にも受検してもらえる。更新についてだが、メリットとデメリットを資料に上げている。一般向けの検定試験の要望もある。

⑩山口：地区にも協力いただけると受検者数が上がってくるのではないかと。更新制度についてだが、2 級の更新制度は無くしてもよいのではないかと。一般向けの検定試験に関しては、お金を払ってでも検定試験を受けたいという人がどれだけいるのだろうか？

④岡谷：資格者のメリットが少ない。活用する場が少ない。もう少し、お墓ディレクターを活用できる方法を考えて欲しい。

⑪柴田：更新制度のことだが、これも一つの収益事業。逆にハードルを上げて更新料を高くして再度つづける。下げたしまうと逆に権威が下がると思う。伴ったメリットを追求。2 級だけの講習会を行ってはどうか？試験会場だが、地区支部会議に合わせてはどうか？

②沓掛：会場は出来るだけ多くした方がよい。国家資格にするならば永久資格として欲しい。

⑤田部井：試験自体の魅力が必要。お墓相談室をどんどん行き、認知度を高める。大きな収入源であるので、各都道府県に協力してもらい、各都道府県で開催してはどうか？

⑧米田：実務経験は無くてもよいのでは？石材業界以外の業界に広げるには何かしらのコンセンスの確認が必要。名古屋会場を減らすのはなぜか？メイン拠点を 2、3 カ所所毎年数会場を変えてみてはどうか？収益は大事だが、誰でも受けられることにより資格価値が下がらないか？お墓ディレクターの位置づけをはっきりすべきではないか？

2017年度 第1回 理事会議事録

- 湯浅：名古屋会場は全体に比べて、受検者数の減少している。大阪、東京で賄えるのではないかという考えからである。
皆様からの意見は委員会に持ち帰り再度協議する。
- (2) 【啓発事業企画調整委員会】HP掲載 講師リストについて 福川 資料B P3
福川：講師リストの活用を是非行ってほしい。皆さんが出席して良かった講演会などを挙げてほしい。
- (3) 【次世代共育委員会】岡崎SF青年部交流会後援（2016年10月15日開催） 山口 資料B P5
山口：石産協のPR、会員拡大に繋がったと思う。
- (4) 【次世代共育委員会】全国青年石材人研修 in 大阪 事業報告（2016年11月23日開催） 山口 資料B P6
山口：ストーンアシスト2016内にて行った。近畿地区の青年部にも協力していただき、地区の方々と手を携えて行うことにより、いろいろな相乗効果が生まれた事業となった。
- (5) 【愛媛県支部】野間神社宝篋印塔修復工事（2016年10月終了） 小田 資料B P7
議長：小田支部長が退席につき、資料一読で報告に代えさせて頂く
- (6) 【関連部会】ストーンアシスト in Osaka2016 事業報告（2016年11月23～24日） 竹ノ内 資料B P8
竹ノ内：昨年度の報告である。継続事業として今年度6月23日に行う。
- (7) 【支部助成金2016/鳥取県支部】沖縄慰霊碑清掃・補修 事業報告（2017年2月3日開催） 上田 資料B P9
上田：2日間の日程で行った。収支決算にて、消耗品支出に膨らみがあり、やや予算オーバーとなった。
- (8) 【東北地区】地区全体会議（2017年2月16～17日開催） 瀬川 資料B P10
瀬川：2年に1度開催。前回の反省から50名の計画が64名参加となった。
- (9) 【加工部会】第7回石材加工講習会@熊本（2017年2月25日開催） 大川 資料B P11
大川：熊本県にて行い、午前は座学、午後は実技の講習会を行った。28名の参加。
- (10) 【墓石部会】第1回部会会議報告（2017年4月12日開催） 佐野 資料B P12
佐野：お墓離れをテーマとして開催。講座の中で明るい話もあり、とても勉強になり良い事業だったと思う。
- (11) 【CS委員会】「いしづえ」「年賀はがき」決算報告（2016年度事業） 能島 資料B P14
能島：ニュースレター・年賀状だが、思ったほど、理解していただくのが難しい。各支部で呼んで頂ければ説明に伺う。
各種お礼のフォーマットも紹介したいと思う。
- (12) 【公正競争規約検討特別委】DVD・パンフレット作成について 白木 資料B P16
白木：既に、各支部の総会にて使用してもらっているDVDの作成費用である。
- (13) 【広報委員会】石工男子広報の第2ステージ 決算（2016年度事業） 上野 資料B P17
上野：石工男子写真集・ステッカーの作成をした。タンブラー(SNS)を使用している。マスコミを通じてタンブラーをいろいろなところへ流したい。
- (14) 【広報委員会】(株)日本香堂 2017年度『母の日参り』への協賛（事業計画） 上野 資料B P18
上野：母の日参りポスターを作成した。今年はプレス発表し、各企業・団体が取組をPRを行った。
- (15) 【次世代委員会】青年部交流会協賛依頼について（2017/6/9あじストンフェア） 山口 資料B P20
山口：庵治ストーンフェアの前日に行い石産協のPRを行い、会員拡大につなげていく。
- (16) 【墓石部会】第2回部会会議開催（2017年7月20日） 佐野 資料B P21
佐野：臼井秀夫氏を迎えて開催する。テーマは寺院・永代供養である。参加者募集中である。
- (17) 【墓石部会】イベントリストについて（2017年度事業） 佐野 資料B P22
佐野：石屋から離れて行かない為にも、お客様との接点をみつけてもらう為にイベントリストを作成。皆様の役に立てるようにしたいと思う。
- (18) 【墓石部会】墓じまいネットワークアンケートについて（2017年事業） 佐野 資料B P34
佐野：石産協通信に封入。アンケートの協力をお願いしたい。
- (19) 【関連部会】ストーンアシスト2017 in Tokyo 予算修正・進捗状況について（6/23） 竹ノ内 資料B P36
竹ノ内：総会翌日に行う。是非脚を運んでほしい。
- (20) 【次世代委員会】若手石材人マガジンvo13作成について（2017年7月） 山口 資料B P37
山口：8月23日のセミナーの告知を主にした内容のマガジンを作成する。
- (21) 【次世代委員会】若手石材人向けセミナー開催について（2017年8月23日） 山口 資料B P38
山口：ジャパンストーンショー会場内にてネットの活用術セミナーを行う。講師は寺田氏である。
- (22) 【ジャパンストーンショー2017運営委員会】経過報告（2017年8月23～25日） 直前 資料B P39

2017年度 第1回 理事会議事録

直前：コマは16コマ残っている。出展はまだ受け付けている。セミナー・イベントを精査した。8/25相談室を行うが、関東近県のお墓ディレクター1級取得者の協力をお願いしたい。是非各支部の皆様研修旅行として参加してほしい。

(23) 【加工部会】第9回石材加工講習会(2017年9月9日) 大川 資料B P42

大川：京都の三和研磨工業にて行う。3部会(採石・加工・関連)合同の事業である。

(24) 【支部助成金/奈良県・石川県支部】『石あかりの小径』合同開催(2017年8月5~14日) 大石 資料B P43

大石：本年も奈良燈花会の事業を石川県支部と合同事業として行う。

(25) 【支部助成金/北海道支部】『幸フクロウ運動』(2017年10月) 三上 資料B P45

三上：幸フクロウは8年目を迎える。今年度は浦河郡という場所である。建てるばかりでなく、以前に送ったところのメンテナンス、支部の活動のPRを行う予定である。

(26) あじストーンフェア協賛依頼について(2017年6月9日) 大代 資料B P46

大代：1万円支出

(27) 庵治むれ石あかり広告協賛・後援依頼について(2017年8月) 大代 資料B P47

大代：本部から20万円支出

(28) 【中国四国地区】中国四国地区全体会議 in 鳥取について(2017年11月22・23日) 姫田 資料B P48

姫田：昨年度、石造物の地震被害があった。我々の業界には基準がなく、地震対策について勉強したいと思う。翌日は研修会を予定。参加人数80名で計画。県又は市から補助金を申請する予定。

(29) 東京都石材業政治連盟協力依頼について 直前 資料B P49

直前：行政に対してのパイプ作り。政治家とのロビー活動は大切だが、資金の使い方、方向性が違うのではないかとことで、正副で否決となった。東京都支部の中での問題とことから、支部にて10万円拠出となったが、本部で否決されたものを支部で出すのもおかしな話である。石産協とのスタンスが違うのではないかと。後日、三団体の長と射場会長で話をいただき、どのようなスタンスで石産協が協力できるかを決めた上で、東京都支部臨時総会にて決定する。

(30) 【役員候補者管理委員会】2017委員会立ち上げについて(2017年度) 大代 資料B P50

大代：4/25正副会長会議に諮ったところ、資料の通り役員候補者委員会のメンバーが決まった。6/23第1回会議開催。

役員改選スケジュールは資料の通り。

チェックアウト(グループ内にて感想発表)

藤田：ヤフーのポータルサイトで《お墓》検索をすると良いイメージの割合が多い。《墓石》と検索すると悪いイメージがある。

玉田：今日の一番の関心は公正競争規約の件で、問題が多いと思った。この業界は色々なことをしていると思う。

三上：何度目かのテーブルディスカッションだが、出た意見を更にテーブルディスカッションをすると良いと思う。

支部長の役目として、理事会で話したことを各支部へ持ち帰って会員に話してもらいたいと思う。

監事講評

伯井：大変充実した中身のある会議であった。一人ずつの意見が聞け、会議の中身が更に深くなったと思う。更に期待する。

閉会

2017年5月17日

議事録署名人：福川 修介 ㊞

議事録署名人：斎藤 勝実 ㊞

議長：金子 宗弘

議事録作成人：事務局 中村 早苗